

教育・研究などへの取組状況(令和7年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和7年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン(3D)、生産機械実習(3D)、社会と環境(4MDEI)、エルゴノミクス(4MDEI)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年)、総合課題実習Ⅲ <p>◆取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡は Teams を活用し、課題の提示・回収は Classroom を活用するなど DX ツールを使い分け学生にとって分かりやすい情報提示を行った。授業は全て動画で記録し、振り返り学習ができるようオンデマンドで提供した。
研 究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C), 代表・鯨坂誠之, 「発達特性を有する高専学生のための実験実習支援プログラムの検証と環境調整の実践」, 2024.4~2028.3 ・科研費・分担:基盤(B)1件, 基盤(C)2件 <p>◆論文執筆・学会発表等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・池田隼・鯨坂誠之:空間の慣れに影響する視覚的要因と環境適応の関係性 その2, TIPI-J を用いた被験者選定の試み, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5176), 351-352, 2025.9 ・田村将・鯨坂誠之・岩本いづみ:間伐材を用いた伝統軸組構法に基づく二階建て休憩ブースの主観的評価, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5260), 519-520, 2025.9 ・2024 年度アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ開催報告, 東田卓・金田忠裕・田村生弥・鯨坂誠之 他5名, 大阪公立大学工業高等専門学校, 研究紀要, 第59巻, pp.20-28, 2026.3 [他3件]
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会:ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2025年, 北野健一(コーディネーター), 鯨坂誠之(メンター) 他 ・地域連携:環境リーダー養成講座, 寝屋川市環境総務課主催, 鯨坂誠之及び研究室ゼミ生, 2025年(夏季, 冬季:計2回実施) <p>◆学協会等の委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会, 人間環境学会, 日本認知症ケア学会, 日本重症心身障害学会, 日本小児保健協会, 日本小児精神神経学会, 日本質的心理学会に所属 <p>◆特記すべき社会貢献の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」会長, 2025年 ・大阪府藤井寺市「環境保全審議会」会長, 2025年 ・大阪府門真市「建築審査会」委員, 2025年

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和6年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教 育	<p>◆令和6年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン概論(2D)、ユニバーサルデザイン(3D)、生産機械実習(3D)、基礎研究(4C)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年)、総合課題実習Ⅲ <p>◆取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内インターンシップや総合課題実習において学外の企業やイベントと連携した取り組みとすることで実践力を強化した。設計製図において「ループリック評価」を取り入れるとともに「建築デザイン製図」(共著, 学芸出版社)を活用することで学生自身の学習意欲の促進を図った。
研 究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C), 代表・鯨坂誠之, 「発達障害の特性のある学生のための高専版実験実習支援プログラムの開発」, 2021.4~2025.3 <p>◆論文執筆・学会発表等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Yuto ODA, Takehito NAKATSU, <u>Shigeyuki AJISAKA</u> et al. : A Study of Evaluation Method for Visual Saliency about "Shikake" by Gaze Guiding Attribute Classification Using Eye Tracking, Nagaoka University of Technology (NUT), 9th STI-Gigaku 2024, STI-3-12(Poster), 2024.11 ・池田隼, 鯨坂誠之:空間の慣れに影響する視覚的要因と環境適応の関係性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5287), 573-574, 2024.8 ・金田忠裕, 早川潔, 鯨坂誠之, 稗田吉成:2023年度アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ開催報告, 大阪公立大学工業高等専門学校研究紀要, 第58巻, 33-38, 2025.1 [他2件]
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会:ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2024年, 北野健一(コーディネーター), 鯨坂誠之(スーパーバイザー) 他 ・地域連携:環境リーダー養成講座, 寝屋川市環境総務課主催, 鯨坂誠之及び研究室ゼミ生, 2024年(夏季, 冬季:計2回実施) ・地域連携:「キラッと!かどま 2024」市内統一清掃, 門真市環境政策課主催, 鯨坂誠之, 中津壮人及び研究室ゼミ生, 2024年 <p>◆学協会等の委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会, 人間環境学会, 日本質的心理学会に所属 [他5学会] <p>◆特記すべき社会貢献の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府藤井寺市「環境保全審議会」会長, 2024年 ・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」副会長, 2024年 ・大阪府門真市「建築審査会」委員, 2024年

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	プロダクトデザインコース
職階	氏名
教授	鯨坂誠之

項目	取組状況
教育	<p>◆令和5年度担当科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報2(2D)、プロダクトデザイン概論(2D)、建築計画(3C)、建築造形実習(3C)、基礎研究(4C)、住環境設計演習(5C)、卒業研究(5C)、ユニバーサルデザイン(専攻科2年) <p>◆取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Classroomの活用、3Dスキャナー・3Dレーザー加工機・3Dプリンターの積極的導入、すべての授業におけるオンデマンド動画の作成等を通じて欠席時のフォローアップだけでなく平常時も自学自習に役立つ工夫を行った。
研究	<p>◆競争的資金等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・科研費:基盤研究(C),代表・鯨坂誠之,「発達障害の特性のある学生のための高専版実験実習支援プログラムの開発」,2021.4~2025.3 <p>◆論文執筆・学会発表等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Shigeyuki Ajisaka, Tomomi Ikeda: Research on improving facility environment for children requiring medical care based on staff's indications, The 18th Congress of Asian Society for Pediatric Research / ASPR, (Virtual Congress) 2023.11 ・鯨坂誠之, 池田友美, 古川恵美: 発達障害の親の会に対するペアレント・トレーニングの効果, 日本質的心理学会抄録集, 第20回(P-46), 2023.11 ・渡邊涼平, 鯨坂誠之: 学習スタイルの差異とロッカールームの使いやすさの関係性, 日本建築学会大会学術講演梗概集, (5109), pp.237-238, 2023.9 ・鯨坂誠之, 高橋舞, 中田裕一, 池田友美: 発達特性の傾向と講義科目・実験実習科目における困りごと, 日本高専学会年会講演会講演論文集, 第29回, B1-5, 2023.8 [他5件]
社会貢献	<p>◆公開講座・出前授業の取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会:ティーチング・ポートフォリオ・ワークショップ, 2023年, 北野健一(コーディネーター), 鯨坂誠之(メンター)他 ・地域連携:環境リーダー養成講座, 寝屋川市, 2023年 ・地域連携:「キラッと!かどま2023」市内統一清掃, 門真市, 2023年 <p>◆学協会等の委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本建築学会, 人間環境学会, 日本質的心理学会に所属 [他5学会] <p>◆特記すべき社会貢献の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府藤井寺市「環境保全審議会」会長, 2023年 ・大阪府寝屋川市「環境保全審議会」副会長, 2023年 ・大阪府門真市「建築審査会」委員, 2023年

<記入上の注意> ※可能な限り1ページ/年度にまとめてください。

教育:該当年度の担当科目, 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)などを記載。

研究:該当年度の研究テーマ, 学外発表実績, 外部資金獲得状況, 共同研究などを記載

社会貢献:該当年度の公開授業, 出前授業, 学協会活動などを記載